

# 事業報告

自 令和4年4月 1日  
至 令和5年3月31日

## 1. 概要

令和4年度は新型コロナウイルス（オミクロン株）の流行、ウクライナ情勢を発端とする原油・原材料価格の高騰や歴史的な円安の進行に伴う物価高騰等により国民生活や経済活動に重大な影響が及びました。

一方、お盆休みや年末年始は3年ぶりに行動制限が無いものとなり、ウィズコロナ下での社会・経済活動の正常化の動きが広がりはじめました。

このような状況の中、令和4年度の事業活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期中止となった事業もありましたが、インターネットを利用したオンラインセミナーや感染対策を講じた上の講演会、研修会などを積極的に展開し、納税意識の高揚、税知識の普及・啓蒙に努めるとともに、地域の社会経済の健全な発展を図って参りました。

以下、その概要として事業を報告いたします。

「税務、経理及び経営知識の普及並びに提言に関する事業」といたしましては決算法人説明会、新設法人説明会、個別税務相談会等を開催しました。

租税教育では青年部会が荒川区内の小学校で“税金ジュニアスクール”を開催しました。女性部会では「第11回税に関する絵はがきコンクール」を実施しました。738点の応募があり、優秀作品を荒川税務署、荒川都税事務所、荒川区役所、荒川法人会館等に展示し、一般に公開しました。

税制改正要望では税制改正に関する要望事項アンケートを実施し、令和5年度税制改正要望事項を東京法人会連合会等に提出し改善を求めました。

広報活動ではホームページおよび広報誌「あらかわ法人ニュース」により、活動報告や各種セミナーの開催案内、インボイス制度などの税情報等を会員はもとより、広く一般にも提供しました。

「地域の健全な発展に資する事業」は実務セミナーとして「コミュニケーションセミナー」、「防災対策セミナー」、「ビジネス心理セミナー」など地域企業に有益な事業を積極的に展開いたしました。また経営・融資相談会等も開催いたしました。

「地域社会への貢献を目的とする事業」では、使用済み切手回収事業を会員はもとより一般にも呼びかけ、集まった使用済み切手を荒川区社会福祉協議会に寄付をし、地域社会貢献活動を積極的に推進いたしました。

「公益事業を補完するための収益を得る事業」では、「経営者大型保障制度」等の福利厚生制度の普及推進を行いました。また、会員企業の福利厚生を図るため、1日人間ドック形式の生活習慣病健診を実施いたしました。

「会員の交流に資する事業」は、部会研修旅行会、支部新年賀詞交歓会などの交流事業を開催し、多くの会員の皆様のご参加をいただきました。